

# バイオマス取組事例概要

関東

(平成18年度バイオマス利活用優良表彰 バイオマス活用協議会会長賞)

・応募主体

全国漁業協同組合連合会

・都道府県・市町村

東京都千代田区

・取組分野

その他(廃棄貝類利用の魚礁)

## 取組概要

貝類養殖の廃棄貝殻を、メッシュパイプ充填し、餌料培養基質を製作。餌料培養基質を取り付けたJFシェルナース魚礁を製造・利用。

貝類養殖によって発生した廃棄貝殻を選別し、現地にてメッシュパイプに充填し、漁業者の手で餌料培養基質を製作。餌料培養基質を部材として海洋建設株が貝殻魚礁JFシェルナースを製造、各県の水産基盤整備事業、漁場造成事業等の実施主体(県・市等)に販売され、水産資源の増大や環境の回復に利用。

各漁業協同組合において、以上のような方法で廃棄貝殻が有効利用されるよう、全国漁業協同組合連合会として、方法のPRを行うとともに、使用する貝殻の選別及び餌料培養基質の製作方法、品質管理方法について説明会を実施。

もともと海のものである貝殻を海に戻し、水産資源と環境の回復を図るという環境に配慮した取組。

取組を実施してから平成17年度までに、24道府県に6000基のJFシェルナースが設置され3600トンの廃棄貝殻が使用された。

